

ATPふき取り検査試験(A3法)

1.目的

検査対象物の清浄度検査

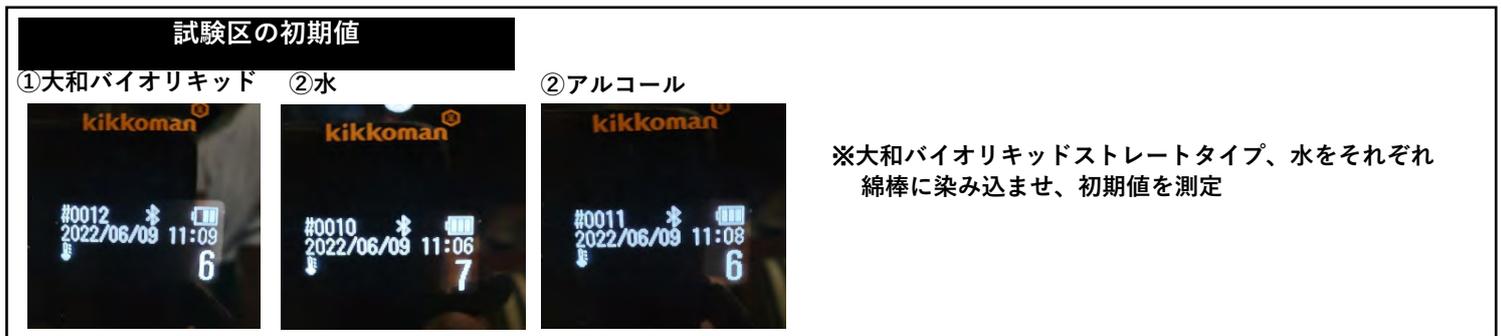
2.手法

ルミテスター Smartを用いて洗浄後の清浄度を数値化

ルシパックの綿棒で、3箇所の検査対象物を拭きとり、初期値を測定。その後、試験区3箇所それぞれにスプレーし、キッチンペーパーで拭き取り、ルミテスター Smartを用いてそれぞれの洗浄後の清浄度を数値化した。

試験区：①大和バイオリキッド②水 ③アルコール（消毒用エタノール：エタノール濃度76.9～81.5vol%）
ストレートタイプ

検査対象物：食事後の汚れた机 3 箇所



①大和バイオリキッド ストレートタイプ



② 水



③消毒用エタノール（エタノール濃度76.9～81.5vol%）



検査対象の拭きとり方法：10cm四方の範囲を綿棒を回転させながら縦横それぞれ10往復
スプレー方法：それぞれ4プッシュずつスプレーし、5分間放置
拭き取り（汚れ除去）方法：キッチンペーパーで、一方方向に4回（1回ずつキッチンペーパーを交換）

3.結果

試験区	初期値	初期値 (対象物)	スプレー後の数値	検証結果	
	(RLU) ※試験液の初期値	(RLU) ※机の汚れ	(RLU) ※洗浄後の汚れ	減少値	残存率
①大和バイオリキッド	6	336512	→ 522	99.84%	0.16%
②水	7	157713	→ 2033	98.71%	1.29%
③アルコール	6	249590	→ 4028	98.39%	1.61%

※RLU値は数値化された単位(参考値は下記に記載しています)

大和バイオリキッドの残渣対比は水の約8倍、アルコールの約10倍の結果となりました。

- ・ATPふき取り検査 (A3法)とは、生き物を含む多くの有機物に含まれるATP (アデノシン三リン酸) を汚れの指標とした検査方法です。
- ・ATPだけでなくADP (アデノシン二リン酸) ,AMP (アデノシン一リン酸) も含め検査できるため、幅広い汚れを高感度に検査することができます。
- ・汚れの指標としているATP,ADP,AMPの総量を数値化することで、客観的な衛生管理を行うことができます。

導入分野別 推奨基準値例

外食・給食

検査の目的	検査ポイント	第1基準値	要注意	第2基準値
		合格(≤)		不合格(>)
衛生教育・作業前衛生チェック	手指	2,000	2,001 ~ 4,000	4,000
調理器具等の 衛生管理	まな板	500	501 ~ 1,000	1,000
	包丁	200	201 ~ 400	400
	調理台	200	201 ~ 400	400
	ザル・ボウル・バット	200	201 ~ 400	400
	鍋	200	201 ~ 400	400
	冷蔵庫 (取っ手)	200	201 ~ 400	400
	冷蔵庫 (内棚)	500	501 ~ 1,000	1,000
	シンク	200	201 ~ 400	400
	食器	200	201 ~ 400	400
	弁当容器	200	201 ~ 400	400